

「笑顔であいさつ」

校長 齋藤千枝

「おはようございます。雨の日に、ありがとうございます。」

これは、ある子が雨の日の登校時に見守り隊の方に向けた言葉です。「子どもからこんな声をかけてくれたのがとてもうれしかったので校長先生に伝えたくて。」と見守り隊の方からの連絡があり、自分もうれしくて朝会でこの話をしたところ

「おはようございます。いつもありがとうございます。」

と、たくさん子どもたちから声がかかり、さらにうれしくて・・・とまた、見守り隊の方からの連絡が。うれしい話の連続になりました。朝は、谷本中学校の生徒にもよく会います。気持ちよくあいさつを交わすことができて、とても爽やかな気持ちになります。

「あいさつって、すてきなちからをもっている。」ということを改めて実感しています。

本校は、谷本中学校ブロック※に属しています。谷本中学校ブロックの教育目標は「笑顔であいさつ ～自分を認め、相手を認め～」です。あいさつを通して地域のよさを感じ、自分をもっと好きになり、相手のよさも認め合いながら、よりよい社会を創っていくことを目指しています。

「あいさつ」の語源は、もともと『押し合う』こと。それが禅宗で『問答し合う』という意味になり、そこから『声をかけ合う』ことを意味するようになったようです。

声をかけ合うことで、笑顔が生まれ、心を温かくし、元気をくれるもの。人とのつながりや心をつないでくれるもの。そこには、様々なあいさつの場面があり、風土や文化、時には歴史をも感じることが出来るものではないでしょうか。

先日、下校時の子どもたちに「さようなら。」とあいさつをすると、「さようなら！校長先生、また明日ね！」と手を振りながら笑顔で帰っていく子がいました。この子のあいさつと笑顔が、放課後の少し疲れた私の気持ちを軽くさせ、「明日ね！」という言葉の余韻が「明日もきっといい一日になるな。」という気持ちにさせてくれました。

旗振りをしてくださっている保護者の方、登下校を見守っていただいている見守り隊の方、日々子どもたちの安全を見守りながら笑顔のあいさつをありがとうございます。

私たち職員も谷本中学校ブロックの職員と共に子どもたち、保護者の方、地域の方と笑顔であいさつを交わし、人とのつながり、心のつながりを大事にし、よりよい社会を創っていきたいと思います。

※谷本中学校ブロック・谷本中学校学区の小中学校です。

谷本中学校・谷本小学校・つつじが丘小学校

さつきが丘小学校・藤が丘小学校の5校です。

横浜市では、9年間で育てる子ども像の実現に向けた取り組みを行っています。